

## 杉原左右一博士記念号の発行に際して

杉原左右一教授は、関西学院大学商学部において40余年の長きにわたって研究・教育、後進の育成ならびに学長職を始め大学での行政に携わってこれら多大な貢献をされてされました。

杉原教授は、関西学院中学部、高等部を経て1964年4月に関西学院大学理学部物理学科に入学され、1968年3月に同学部をご卒業になりました。その後、関西学院大学大学院商学研究科修士課程、同博士課程へと進学されました。1970年4月に関西学院大学商学部助手に就任され、1973年4月に専任講師、1977年4月には助教授、そして1983年4月に教授に就任され、1986年4月には博士課程前期課程指導教授、1989年4月には後期課程指導教授となりました。行政面では今日まで学生部長、商学部長、商学研究科委員長、総合研究室室長、図書館長、大学評議員等々の要職を歴任され、2008年4月には関西学院大学学長となりました。また2009年4月には聖和大学学長も兼任され、関西学院大学および学校法人関西学院において数々の重責を果たしてされました。

杉原教授のご専門は、統計学であり、博士学位論文『時系列の統計的研究』により関西学院大学より商学博士の学位を授与されておられます。その後も時系列の変動構造に関する確率論的、統計理論的研究を深めてされました。また最近では、コンピュータサイエンスやデータサイエンスに関して、それらの理論と応用の両側面に

強い関心を持たれ、教育・研究に携わってられました。

また杉原教授は、大学基準協会理事、日本私立大学連盟常務理事、大学コンソーシアムひょうご神戸理事長等、社会活動の要職につかれ、積極的に社会への貢献活動にも関わってられました。

杉原教授のご退職にあたり、商学部ならびに商学研究科の教育、研究、行政に対する多大のご貢献に衷心より感謝の意を表し、ここに『商学論究』の記念号を刊行できますことは大きな喜びであります。先生の今後のますますのご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

なお、この記念号の刊行に際してご執筆いただいた先生方、また編集に携わっていただいた商学論究編集委員会の先生方に厚く御礼を申し上げる次第です。

2014年 3 月

商学部長 海道ノブチカ